

～三菱地所レジデンス主催、各地を代表する伝統工芸を一堂に展示・販売～

日本の伝統工芸展「一生ものを訪ねて」を開催

2024 年 8 月 23 日（金）・24 日（土）丸ビル 1 階・マルキューブにて

三菱地所レジデンス株式会社（以下、三菱地所レジデンス）は、2024 年 8 月 23 日（金）・24 日（土）の 2 日間にわたり、丸の内の丸ビル 1 階・マルキューブにて日本の伝統工芸展「一生ものを訪ねて」を開催します。

三菱地所レジデンスは、「一生ものに、住む。」をコアバリューとし、こだわりをもって住まいづくりに取り組んでいます。かたや伝統工芸は伝統的な技術・手法にて手作りで丁寧に製造されるまさに「一生もの」であり、使う方にとってかけがえのない良質なものです。三菱地所レジデンスのこだわりをもったものづくりの姿勢と共通するところがあることから、「一生ものを訪ねて」と題して雑誌広告等を通じ伝統工芸の紹介活動を実施してきました。

今回の伝統工芸展は、各地を代表する伝統工芸職人をお呼びし、手塩にかけた伝統工芸を一堂に展示・販売するとともに、来場者が直接触れ、使ってみることで使い心地を体験し、トークショーやワークショップを実施してその良さを知ること、日本の伝統工芸品を発信する機会となることを目指しています。

さらに、雑誌広告で掲載予定も令和 6 年能登半島地震により出演ができなかった「輪島塗」の輪島屋善仁様を招待しトークショーにも参加いただきます。イベント会場にて令和 6 年能登半島地震災害支援募金を実施いたします。



▲伝統工芸展開催イメージ

日本の伝統工芸には、人々のニーズ・ライフスタイルの変化や職人の後継者不足、原材料や要具の供給減など様々な課題が存在します。今回の伝統工芸展は伝統工芸の素晴らしさを発信する機会の一つであり、三菱地所レジデンスがサポートし、広く発信することによって課題解決の一助になることを期待しています。

■開催概要

日 時：2024 年 8 月 23 日（金）・24 日（土）11：00～20：00

場 所：丸ビル 1 階マルキューブ（東京都千代田区丸の内 2-4-1）

展示品：【岩手県】南部鉄器、【石川県】輪島塗、【岐阜県】和傘、【愛知県】瀬戸染付焼、
【京都府】手描友禅、【和歌山県】紀州桐箆笥、【鹿児島県】島津薩摩切子

入場料：無料

主 催：三菱地所レジデンス株式会社

■イベントスケジュール

8月24日（土）に以下の通りワークショップおよびトークショーを行います。

【ワークショップ】 ※先着順・参加無料、所要時間 45分/回

「自由な表現で楽しもう！木でつくる夢のおうちづくり」－「紀州桐箆笥」職人・東福太郎氏

①13:00～ ②15:00～ ③17:00～

「友禅染めの技術でつくる！世界に1つのトートバッグ」－「手描友禅」職人・上仲正茂氏

①14:00～ ②16:00～

【トークショー】 ※予約不要・参加無料、30分程度/回

14:20～「攻める伝統工芸～新しい工芸品の開発とPR～」 紀州桐箆笥・東氏 × 南部鉄器・田山氏

15:20～「未来につなぐ伝統工芸～工芸品の伝統と革新～」 手描友禅・上仲氏 × 瀬戸染付焼・加藤氏

16:20～「伝統工芸の継承～輪島塗の復興を目指して～」 南部鉄器・田山氏 × 輪島塗・中室氏



▲紀州桐箆笥職人 東福太郎氏



▲手描友禅職人 上仲正茂氏

■展示品紹介

展示品	概要	写真
【岩手県】南部鉄器	南部鉄器は江戸時代中期に誕生した伝統工芸品で、南部藩でつくられていたことから「南部鉄器」と呼ばれるようになった。「砂鉄」「漆」「川」「炭」「粘土」という自然の恵みからつくられ、「デザイン」「鋳型をつくる」「模様をおす」「鉄を注ぐ」「金気止め」「漆を塗る」など工程が多いのも特徴的。	
【石川県】輪島塗	輪島塗とは国指定の伝統的工芸品であり、国の重要無形文化財に指定されている。その起源については諸説あるが、現在の輪島塗に近い形態になったのは江戸時代前期（1630年）と言われている。昭和以前には冠婚葬祭用の堅牢な実用品として用いられることが一般的だったが、現代では芸術品としての意味合いを持つ。	

【岐阜県】和傘	岐阜和傘の技術は江戸時代から承継されている。素材は和紙と竹と木。すべて自然素材であることが特徴。岐阜和傘の多くが京都に流通していたため、細く、美しく、繊細なつくり。その姿形は現在まで継承されている。	
【愛知県】瀬戸染付焼	瀬戸のやきものは 1000 年以上の歴史を持つ。瀬戸染付焼が生まれたのは江戸時代後期。山水・花鳥・草花等が写実的に表現された瀬戸染付焼は、明治時代にはウィーンやパリの万国博覧会で高く評価され、アールヌーボーにも影響を与えたと言われている。原料や技術等が現在まで受け継がれている。	
【京都府】手描友禅	元禄時代に生まれ、今日まで継承される京都の代表的な工芸品。筆や刷毛を使い、絵画のように染めていくことが特徴。糸目糊を使うことで絵画的な表現ができる。糸目糊は川で言う堤防の役割をし、柄の輪郭に合わせて置くことで隣り合う色同士をにじませずに染めることができる。すべてを手作業で行う。	
【和歌山県】紀州桐箆笥	胴丸型の桐箆笥は堂々としたたたずまいや、アールの丸さが特徴。城下町であるため、天守閣や石垣をイメージさせるような豪華な作りが紀州桐箆笥らしさと言える。	
【鹿児島県】島津薩摩切子	江戸時代末期、薩摩藩藩主 島津斉彬が海外の貿易品として開発した薩摩切子。日本独自の表現としてグラデーションを上手に使っているのが特徴。同時代に制作された浮世絵や着物の染色なども美しいグラデーションが使われている。	

＜参考＞三菱地所レジデンスのものづくり

三菱地所レジデンスでは、新築分譲マンションシリーズ「ザ・パークハウス」を供給しています。コアバリューは「一生ものに、住む。」。「一生ものに、住む。」には、良質なものの、かけがえのないものという意味が含まれており、ザ・パークハウスを通じて、お客様に提供したい価値です。三菱地所レジデンスは、どんな時でも安心を感じることができ、上質な暮らしを楽しめること、そして住むほどに誇りと歓びが深まっていくこと。そんな住まいを目指し、用地選定から商品企画、デザイン、設計、施工品質管理から入居後のサービスに至るまで、こだわりをもってマンションに向き合っています。

＜提供価値＞

- ・住まいの品質を創造する「5つのアイズ」
- ・より豊かで上質な暮らしをトータルサポート
- ・分譲戸数の蓄積、ザ・パークハウスの信頼の証
- ・三菱地所グループの暮らしを支える総合力



